

ネギのネダニ類の防除対策について

ネギのネダニ類は、連作したほ場で発生が多くみられます。年間を通して発生が見られますが、春から初夏にかけてと秋に発生が多くみられ、成虫・幼虫とも土の中の根と茎に寄生して加害します。

加害を受けると生育が悪くなり、葉が黄化して枯死する場合がありますので、下記を参考に防除を実施してください。

防除のポイント

ネダニの主な発生源は、前作で発生した作物の残渣に生存（寄生）しているネダニとネダニが寄生している苗の持ち込みです。このため、ネダニを①ほ場に入れない②ほ場で増やさないことが重要です。

①ほ場に入れない

- ・苗にネダニが寄生していないことを確認して定植します。
- ・育苗期や植付時に薬剤防除を実施します。

②ほ場で増やさない

- ・ほ場 pH が低い（酸性）土壌に発生しやすいので **pH 6.0 を目安に石灰で矯正します。**
- ・連作のほ場で発生が多くなるので、定植前（時）に土壌処理を行います。
- ・発生が多くなると防除が困難になりますので早めの防除を行います。
- ・ネダニの発生が確認されたほ場では、次作の発生源になるので収穫後の**作物残渣はほ場に残さず適切に処分**してください。



ロビンネダニの被害



ロビンネダニ(拡大)

表 ネダニに対する主な防除薬剤一覧

(令和 6 年 5 月 29 日現在)

薬剤名	希釈倍数、使用量	使用時期	本剤の使用回数	分類
D-D	20L/10a (1穴当り2ml) 全面処理 ※	作付の10～15日前まで	1回	8A
テロン	20L/10a (1穴当り2ml) 全面処理 ※	作付の10～15日前まで	1回	8A
ジュリボフロアブル	200倍 灌注 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壌約1.5～4L) あたり0.5L	育苗期後半～定植当日	1回	28, 4A
グレースシア乳剤	2000倍 30分間苗浸漬	植付時	1回	30
ラグビーMC粒剤	20kg/10a 全面処理土壌混和	定植前	1回	1B
フォース粒剤	9kg/10a 作条土壌混和	定植時	1回	3A
フォース粒剤	6～9kg/10a 株元散布	収穫30日前まで	1回	3A
グレースシア乳剤	2000倍 1L/平方m 株元灌注	収穫21日前まで	1回	30
アプロードフロアブル	500～1000倍 1～3L/平方m 株元灌注	収穫14日前まで	1回	16
トクチオン乳剤	2000倍 3L/平方m 株元灌注	収穫7日前まで	3回以内	1B
ダントツ粒剤	6kg/10a 株元散布	収穫3日前まで	4回以内	4A

※ 耕起整地後、縦横 30cm 間隔の碁盤の目に切り千鳥状に深さ 15～20cm に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 NEWS は J A 全農いばらき ホームページでもご覧になれます。